

「御白石持行事に参加して」

井桁正昭

三重大会の翌日8月10日、平成25年第62回し神宮式年遷宮に向けて行われている御白石持行事に参加しました。

千葉会からは4名が参加しました。



青空の下、見上げる大きさの奉曳車には、御白石が入った四斗樽が満載され、その姿に圧倒されます。



木遣り子の指揮のもと「エンヤ」「エンヤ」の声を揃え、奉曳車から伸びる純白の手綱を上下にゆすり、リズムをとって曳いてゆきます。終点宇治橋までは、およそ800mです。



千葉会の面々も手綱をき曳きます。(皆同じ方を見えています、何かあったんでしょうか)



おはらい町通り沿道の家々からは、冷たい水やお茶、塩飴などが次々に差し入れられ、酷暑の奉曳でも不安はありません。伊勢の人々のやさしさが、おもてなしの行動となって表れる姿に感動します。



宇治橋まで奉曳した後、お清めを行います。そして、一人ひとりに御白石が手渡されます。白布も一緒に手渡され、その上に御白石を受け取ります。



御正殿を遙拝し、新宮の御門をくぐり、新しい御敷地に御白石を奉納しました。



(御敷地内は、撮影禁止でした。)